

有限会社 河原オートサービス

2022年度 環境経営レポート

(対象期間:2022年6月～2023年5月)



発行日： 2023年6月23日

一 目 次 一

1.組織の概要、対象範囲	P1
2.組織体制図	P2
3.環境経営方針	P3
4.環境経営目標及び取組結果	P4
(1)目標(中期目標)	P4
(2)運用期間の実績	P5
(3)運用期間の数値目標の実績評価	P6
5.環境経営計画及び取組結果	P7
6.環境関連法規等の遵守状況の評価の結果	P8
7.代表者による全体の評価と見直し・指示	P9
8.環境経営取組活動の紹介	P10

## 1. 組織の概要

### (1) 名称及び代表者名

有限会社 河原オートサービス  
代表取締役 河原 利明

### (2) 所在地

本 社 〒709-2136 岡山県岡山市北区御津紙工2765番地の2

### (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名・連絡先

責任者・担当者 河原 慎治  
TEL:086-726-0702  
FAX:086-726-0139  
E-Mail:k-a-s@po10.oninet.ne.jp

### (4) 事業内容

自動車整備  
自動車販売(新車・中古車)  
自動車用品販売  
自動車保険代行業務

### (5) 事業の規模

個人創業:1976年12月  
法人設立:1996年9月

	2020年度	2021年度	2022年度
従業員 (人)	5	5	5
敷地面積 (m <sup>2</sup> )	320	320	320
売上高 (万円)	5928	5748	5803

### (6) 事業年度 6月～5月

## 2. 認証・登録の対象範囲

認証・登録番号:0013416

認証・登録事業者:有限会社 河原オートサービス

事業活動:自動車整備、自動車販売(新車、中古車)、自動車用品販売、自動車保険代行業務

対象事業所:本社



### 3. 組織体制図

有限会社 河原オートサービス EA21実施体制



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・経営における課題とチャンスの明確化</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し・指示</li> <li>・環境経営レポートの確認、承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を作成、確認</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>・環境経営計画の実績集計</li> <li>・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施</li> <li>・環境教育訓練計画の作成と実施の管理、評価</li> <li>・環境経営の実施状況の評価、見直し</li> <li>・特定された項目の手順書作成(緊急事態への対応を含む)</li> <li>・教育訓練の計画・実施</li> <li>・環境経営方針の全社員への周知</li> </ul>
社員共通の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>

## 4. 環境経営方針

### 企業理念

当社は、自動車の整備・販売を主とする事業活動において、まごころで人と車と環境に善い社会を作り、環境負荷の低減を図るために、従業員一丸となって自主的・積極的に環境への取り組みに努めます。

「人」…一人ひとりのお客様を大切にし心と信頼でつながり安心を与えます。そのためには一つひとつ丁寧に整備をします。地域で喜ばれる企業を目指します。

「車」…予防整備、エコ整備を通して、お客様の移動手段である自動車の燃費向上や故障を少なくし、無駄な出費を抑えます。整備技術、知識の向上に努めます。

「環境」…自然豊かな地域の川（水）、大気、土壤を汚さないよう努力し経営をしていきます。次世代自動車の販売を通して、エネルギー・シフト転換、低炭素、脱炭素社会へ貢献し、地球温暖化防止に努め次世代の人が困らない社会を作ります。

### 環境経営方針

1. ガソリン、電気使用量を削減し、二酸化炭素抑制に努めます。
2. 環境負荷の少ない化学物質の使用に取り組みます。
3. 分別、リサイクルに取り組み、廃棄物を削減します。
4. 水使用量を削減します。
5. 環境に関する法令・規則等を遵守します。
6. 環境配慮製品・サービスの販売に取り組みます。
7. 地域活動に協力し、地域の環境保全に貢献します。
8. 全従業員がこの環境経営方針を理解し、環境経営の継続的改善に努めます。

作成日： 2020年12月1日  
改訂日： 2022年8月1日

代表取締役社長 河原 利明



## 5. 環境経営目標及び取組結果

### (1) 目標(中期目標)

年 度 項 目		2019年度 (6~5月) 実績	2020年度 (6~5月)	2021年度 (6~5月)	2022年度 (6~5月)
I. 二酸化炭素 総排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	19,235	18,081	17,889	17,504
	対基準		△6%	△7%	△9%
電気使用量削減	kWh	7,001	6,651	6,511	6,301
	対基準		△5%	△7%	△10%
ガソリン使用量 削減	L	5,503	5,118	5,008	4,953
	対基準		△7%	△9%	△10%
軽油使用量 削減	L	132	128	127	126
	対基準		△3%	△4%	△5%
灯油使用量 削減	L	664	611	598	591
	対基準		△8%	△10%	△11%
II. 廃棄物排出量					
一般廃棄物 削減	kg	1,008	958	937	927
	対基準		△5%	△7%	△8%
産業廃棄物 削減	kg	8,024	7,864	7,783	7,703
	対基準		△2%	△3%	△4%
III. 水使用量 削減	m <sup>3</sup>	40	38	37	36
	対基準		△5%	△7%	△9%
IV. 化学物質 適正使用	kg	192	183	179	適正使用
	対基準		△5%	△7%	
V. 環境配慮製品 販売(エコ整備)	台	532	543	548	558
	対基準		+2%	+3%	+5%

※二酸化炭素総排出量はLPG排出量を含みます。

注1) 電力の二酸化炭素排出係数は、令和3年1月 中国電力の 0.636 kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用

年 度 項 目		2023年度 (6~5月)	2024年度 (6~5月)	2025年度 (6~5月)
I. 二酸化炭素 総排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	12,887	12,503	12,310
	対基準	△33%	△35%	△36%
電気使用量削減	kWh	6,861	6,511	6,441
	対基準	△2%	△7%	△8%
ガソリン使用量 削減	L	3,302	3,247	3,191
	対基準	△40%	△41%	△42%
軽油使用量 削減	L	108	108	107
	対基準	△18%	△18%	△19%
灯油使用量 削減	L	226	213	206
	対基準	△66%	△68%	△69%
II. 廃棄物排出量				
一般廃棄物 削減	kg	454	444	433
	対基準	△55%	△56%	△57%
産業廃棄物 削減	kg	7,944	7,864	7,783
	対基準	△1%	△2%	△3%
III. 水使用量 削減	m <sup>3</sup>	35	35	35
	対基準	△11%	△12%	△13%
IV. 化学物質 適正使用	kg	適正使用	適正使用	適正使用
	対基準			
V. 環境配慮製品 販売(エコ整備)	台	564	569	574
	対基準	+6%	+7%	+8%

## (2) 運用期間の実績

項目	年度	基準	運用期間における実績			
		2019年 6~5月	(2021年6月~2022年5月)			
			目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 総排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	19,235	17,504	13,686	128%	○
	対基準			△9%		
電気使用量削減	kWh	7,001	6,301	7,581	83.1%	×
	対基準			△10%		
ガソリン使用量 削減	L	5,503	4,953	3,471	143%	○
	対基準			△10%		
軽油使用量 削減	L	132	126	106	119%	○
	対基準			△5%		
灯油使用量 削減	L	664	591	200	296%	○
	対基準			△11%		
II. 廃棄物排出量						
一般廃棄物 削減	kg	1,008	927	432	215%	○
	対基準			△8%		
産業廃棄物 削減	kg	8,024	7,703	9,763	79%	×
	対基準			△4%		
III. 水使用量 削減	m <sup>3</sup>	40	36	35	103%	○
	対基準			△9%		
IV. 化学物質 適正使用	kg	192	適正使用	適正使用	-	○
	対基準					
V. 製品への環境 配慮(工場整備)	台	532	548	595	109%	○
	対基準			+5%		

注)評価欄にて、○:達成、△:やや未達成、×:未達成

※二酸化炭素総排出量はLPG排出量を含みます。

注1) 電力の二酸化炭素排出係数は、0.636 kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用

### (3) 運用期間の数値目標の実績評価

- ①CO<sub>2</sub>総排出量削減 (達成度:128%)
  - ・環境負荷の多いガソリン使用量を削減できたことが大きかった。
  - ・達成できなかつた月もあったが全体的にみて達成できた。
- ②電気使用量削減 (達成度83.1%)
  - ・エアコンの使用量が夏季多く、増加した。
- ③ガソリン使用量削減 (達成度143%)
  - ・効率的な使用ができる使用量を削減できた。
  - ・代車のガソリン給油量の工夫で効果があつた。
- ④軽油使用量削減 (達成度119%)
  - ・利用が少なく使用量が減少した。
- ⑤灯油使用量削減 (達成度296%)
  - ・スチーム洗車機の灯油使用量を削減できたところが大きかった。
- ⑥一般廃棄物削減 (達成度:215%)
  - ・ごみの分別を徹底することで削減できた。
  - ・資源になりやすいものを選び削減できた。
- ⑦産業廃棄物削減 (達成度:79%)
  - ・適正分別、処理がきちんとできた。
- ⑧水使用量の削減 (達成度:103%)
  - ・節水チラシにより節水向上できた。
- ⑨化学物質適正使用 (達成度:-%)
  - ・環境負荷の少ない化学物質の使用ができた。
- ⑩環境配慮製品の販売 (達成度:109%)
  - ・愛車点検などで提案ができ達成できた。

## 6. 環境経営計画及び取組結果

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかつた ×全くできなかつた

取り組み計画	達成状況	評価結果
<b>電力使用量の削減</b>		
・エアコンの適正使用	×	エアコンの使用が夏季多く達成できなかつた。
・不要照明の消灯	◎	工場、事務所は自然光を利用し必要な時だけ使用できた。
・待機電力の節電	○	終業時にタップ電源オフにし節電できた。
次年度の取り組み		エアコンの適正使用、不要照明の消灯に取り組む。
<b>ガソリン使用量の削減</b>		
・不要なアイドリングストップ	◎	ハイブリッド車、電気自動車をできるだけ使用した。
・急加速・急停車の防止	○	時間に余裕を持つことでできてきた。
・計画的・効率的な移動	◎	計画的・効率的に車を使用できた。
・電気自動車の導入	◎	電気自動車の導入ができた。
・代車の1回の給油量減らす	◎	代車の給油量の工夫で効果があつた。
次年度の取り組み		電気自動車とエコカーの使用を増やし削減する。
<b>軽油使用量の削減</b>		
・不要なアイドリングストップ	△	あまりできなかつた。
・急加速・急停車の防止	○	安全運転に心がけ、エコドライブができた。
・計画的・効率的な移動	○	計画的・効率的に使用ができた。
次年度の取り組み		計画的・効率的な移動を心がけ削減に努める。
<b>灯油使用量の削減</b>		
・ストーブの適正使用	○	早朝、夕方の時間だけの寒い時間帯での使用にとどめた。
・室温管理(22°Cを基準)	○	室温管理に取り組めた。
・ウォームビズの実践	○	全員意識して取り組めた。
・エアコンとの使い分け	◎	時間帯や室温により使い分れた。
・スチーム洗車機の灯油節約	◎	かなり意識して取り組め、削減できた。
次年度の取り組み		スチーム洗車機の灯油使用量節約を引き続き継続する。
<b>一般廃棄物の削減</b>		
・分別の徹底、リサイクル促進	◎	プラスチックごみを更に削減でき取り組めた。
・ミスコピーの防止	○	印刷する前に確認。不要な印刷をしないように取り組めた。
・裏紙の再利用	◎	裏紙の再利用に取り組めた。
・資源になりやすいものを選ぶ	◎	しっかり取り組みができ削減につながつた。
次年度の取り組み		分別の徹底、リサイクルを継続して取り組む。
<b>産業廃棄物の削減</b>		
・適正分別、処理	○	細かい分別、処理もきちんとできた。
・マニフェスト適正管理	○	マニフェストの管理がしっかりできた。
・油水分離層の定期点検	◎	水質検査を行い基準内にできていることを確認した。
・廃棄物削減	×	仕事量が多く、有価廃棄物が増えた。
次年度の取り組み		適正分別、処理を継続し行う。
<b>水使用量の削減</b>		
・節水意識の向上	◎	節水チラシにより向上した。
・清掃時・手洗い時の節水	○	必要最低限の使用量を心がけられた。
次年度の取り組み		節水意識の向上により、節水を削減する。
<b>化学物質の適正使用</b>		
・化学物質の適正管理・使用	○	適正管理・使用できた。
・化学物質を物質ごとに把握	○	自己チェックシートで把握できた。
・SDS情報で成分分析	○	SDS情報で成分分析できている。
・化学物質の削減	△	キャンペーンでクーラントの使用量が増加した。
次年度の取り組み		環境負荷の少ない化学物質の使用を継続する。
<b>製品への環境配慮</b>		
・市場・顧客情報の調査	○	集計管理ができた。
・販売・点検時に提案	◎	提案がしっかりとでき、増加できた。
次年度の取り組み		提案を継続する。

## 7. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法 (排出事業者)	産業廃棄物収集運搬・処理業者の許可の確認、契約 産業廃棄物の適正処理 マニフェスト交付、保管、報告書の提出 産業廃棄物処理契約書の許可証の有効性を点検、確認	遵守
騒音・振動規制法	特定施設の事前届出 地域別騒音基準の順守	遵守
水質汚濁防止法	廃油類の適正保管 油水分離層の適正管理・保守点検・清掃 油及び有害物質の流出事故時の措置と届出	遵守
高圧ガス保安法	高圧ガス容器置場や充てん容器は、容器置場の技術上の基準に従う 容器の定期検査 事故時の対応、県に届出	遵守
フロン排出抑制法	フロン類の登録充填回収者による適切な回収 環境影響の少ない指定製品の使用に努める フロン類回収時の委託確認書交付と引取証明書の保存(3年間) フロン類の漏洩点検、簡易点検 機器の設置、使用、廃棄等の義務	遵守
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正な事業者(引取登録事業者)への引き渡し 抹消登録 解体業者からの解体済み証の保管	遵守
消防法	消火訓練の手順書の確認、実施 危険物第4類の適正管理 消防設備の点検(消火器、火災報知器)	遵守
PRTR法	性状及び取扱に関する情報(SDS)の受取・発行	遵守
プラスチック資源循環促進法	プラスチック廃棄物を分別して再資源化する	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は過去3年間遵守されていることを確認しました。

## 8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

今期は世界での水不足ニュースを受け、水使用量削減のため、子供の作成した節水ポスターを掲示し、節水に力を入れてきた。待望の電気自動車の導入も、2月にようやく納車され活用できている。来期からのガソリン使用量削減に期待できる。地域での取組みも地元環境委員の成り手がなく、役員を受けさせて頂き、新たに地域貢献ができた。4月に大雨警報で短時間の降水量が多く、川の増水スピードが早かったことから水防訓練も行った。環境負荷の少ない化学物質の使用については、下回り錆止め塗装、エンジン洗浄剤、手洗い洗剤等環境に配慮した製品の使用が継続してきた。電気使用量が増加したことの今後の課題として、省エネエアコンへの買替えを行ったが、来期以降、自社での太陽光発電などの設備投資で強化し、削減に貢献したい。働き方改革を行った結果、効率性、残業もなく売り上げを維持できた。しかし実際には課題も多く、取組みを工夫していく必要がある。エコアクション21の取組みも3年目になるが地球環境を守るだけでなく、会社の経営を上げることができ、経費も大きく削減、また、地域貢献できたことで取り組んだ実感をすることができた。

今後は、環境経営方針、環境経営目標、実施体制の変更はないが、経営の課題とチャンスを生かし、より一層の成果が得られる活動を要望します。

2023年5月31日  
代表取締役社長 河原 利明

## 9. 環境経営取組活動の紹介

### 1. 廃棄物の削減、分別への取り組み



＜飲み物容器等の脱プラスチック＞  
(紙パック、リターナル瓶、麦ストロー)

### 2. 省エネ、節水活動への取り組み



＜電気自動車の導入＞

### 3. ボランティア活動の取り組み



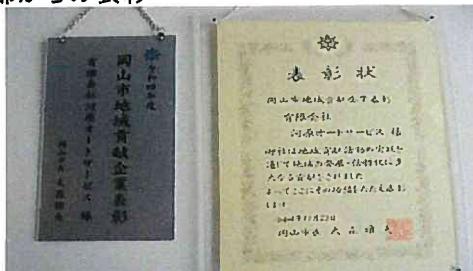
＜ベルマーク、古切手等寄付回収活動＞

### 4. 地域活動への取り組み



＜地域行事のアダプト参加＞(7月・11月活動)

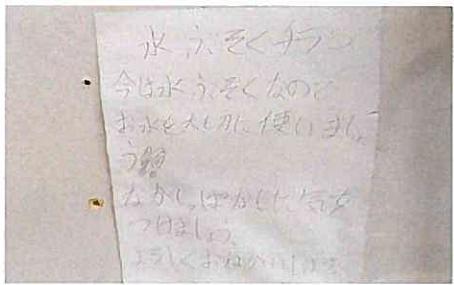
### 5. 外部からの表彰



＜岡山市地域貢献企業表彰受賞＞



＜ごみの分別＞



＜節水運動＞節水チラシ



＜歯ブラシ等リサイクル回収活動＞



＜環境委員での活動＞(毎月第1日曜日活動)



＜岡山運輸支局長表彰受賞＞(環境にやさしい優良事業場)  
10